

NY マーケットレポート (2014 年 9 月 26 日)

NY 市場では、序盤に発表された 4-6 月期の米 GDP 確定値は、改定値から上方修正され、2011 年 10-12 月期以来 10 四半期ぶりの大きな成長率となったことを好感し、ドルは序盤から堅調な動きとなった。そして、米国の早期利上げ期待が高まったことから、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなり、特に対円で 2008 年 8 月以来、対ユーロで 2012 年 11 月以来の高値を付ける動きとなった。また、新興国通貨や資源国通貨も、引き続き対ドルで下落する動きとなった。

2014/ 9/26 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	108.97	109.17	108.48
EUR/JPY	138.91	139.03	138.38
GBP/JPY	177.67	177.93	177.16
AUD/JPY	95.63	95.84	95.37
EUR/USD	1.2748	1.2761	1.2728

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	109.16	108.97
EUR/JPY	139.08	138.86
GBP/JPY	178.12	177.66
AUD/JPY	95.95	95.59
EUR/USD	1.2756	1.2725

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16229.86	-144.28
ハンセン指数	23678.41	-89.72
上海総合	2347.72	+2.61
韓国総合指数	2031.64	-2.47
豪ASX200	5331.42	-68.75
インドSENSEX指数	26626.32	+157.96
シンガポールST指数	3292.21	+1.22

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6649.39	+9.68
仏CAC40	4394.75	+39.47
独DAX	9490.55	-19.46
ST欧州600	342.30	+0.86
西IBEX35指数	10851.40	+68.30
伊FTSE MIB指数	20795.37	+383.88
南ア 全株指数	49663.64	+160.09

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	109.27	109.54	109.04
EUR/JPY	138.60	139.00	138.52
GBP/JPY	177.58	178.01	177.36
AUD/JPY	95.76	95.99	95.73
NZD/JPY	85.93	86.29	85.92
EUR/USD	1.2685	1.2741	1.2677
AUD/USD	0.8764	0.8800	0.8755

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17113.15	+167.35
S&P500	1982.85	+16.86
NASDAQ	4512.20	+45.45
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	15026.77	+133.20
ブラ ボルサ指数	44884.33	+103.21
ブラ ボベスパ指数	57212.38	+1250.30

9/29 経済指標スケジュール

16:30	【スウェーデン】8月小売売上高
17:30	【香港】8月小売売上高
17:30	【英】8月住宅ローン承認件数
17:30	【英】8月住宅証券融資高
17:30	【英】8月消費者信用残高
17:30	【英】8月マネーサプライM4
18:00	【欧】9月消費者信頼感
18:00	【欧】9月業況判断指数
18:00	【欧】9月サービス業信頼感
18:00	【欧】9月鉱工業信頼感
18:00	【欧】9月経済信頼感
21:00	【独】9月消費者物価指数
21:30	【米】8月PCEデフレーター
21:30	【米】8月個人所得
21:30	【米】8月個人支出
23:00	【米】8月中古住宅販売成約
23:30	【米】9月ダラス連銀製造業活動指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1215.40	-6.50
NY 原油	93.54	+1.01
CMEコーン	323.00	-3.00
CBOT 大豆	910.25	-12.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.58%	0.56%
3年債	1.06%	1.02%
5年債	1.80%	1.76%
7年債	2.24%	2.19%
10年債	2.53%	2.51%
30年債	3.22%	3.21%

9/29 主要会議・講演・その他予定

・シカゴ連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 109.11 ユーロ/円 138.91 ユーロ/ドル 1.2733

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6647.25	+7.54	ダウ INDEX FUTURE	16929	+29
仏 CAC40	4386.07	+30.79	S&P500 FUTURE	1963.80	+2.20
独 DAX	9515.81	+5.80	NASDAQ FUTURE	4013.25	+5.75

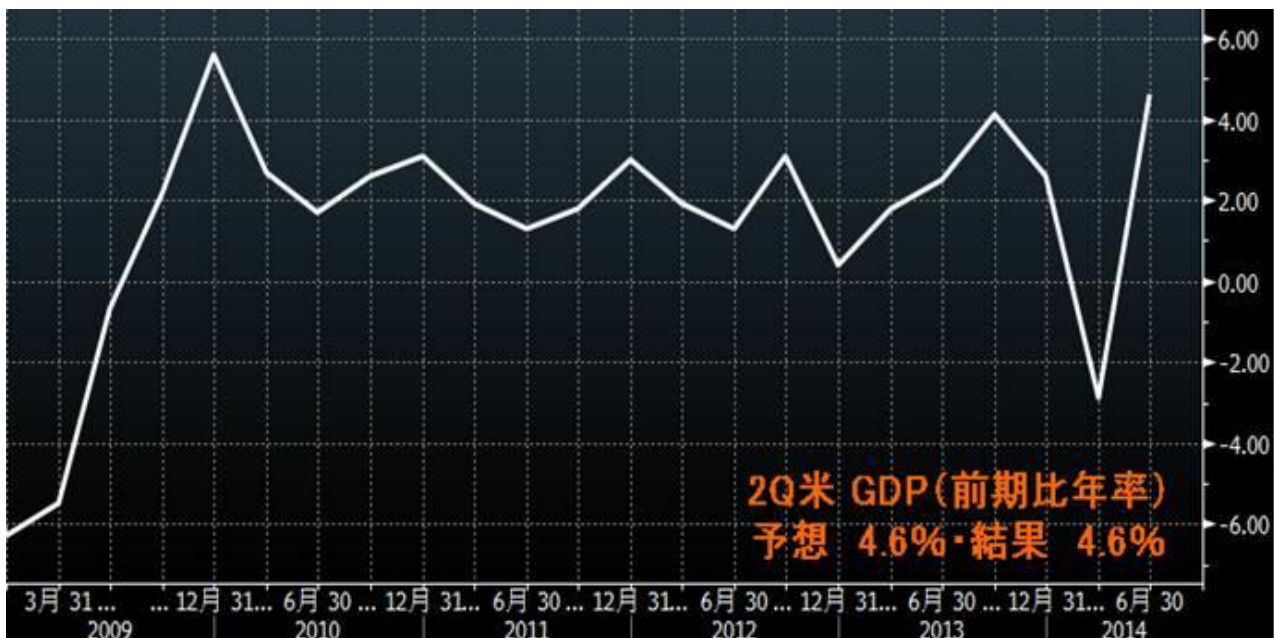
(出所:SBILM)

21:30

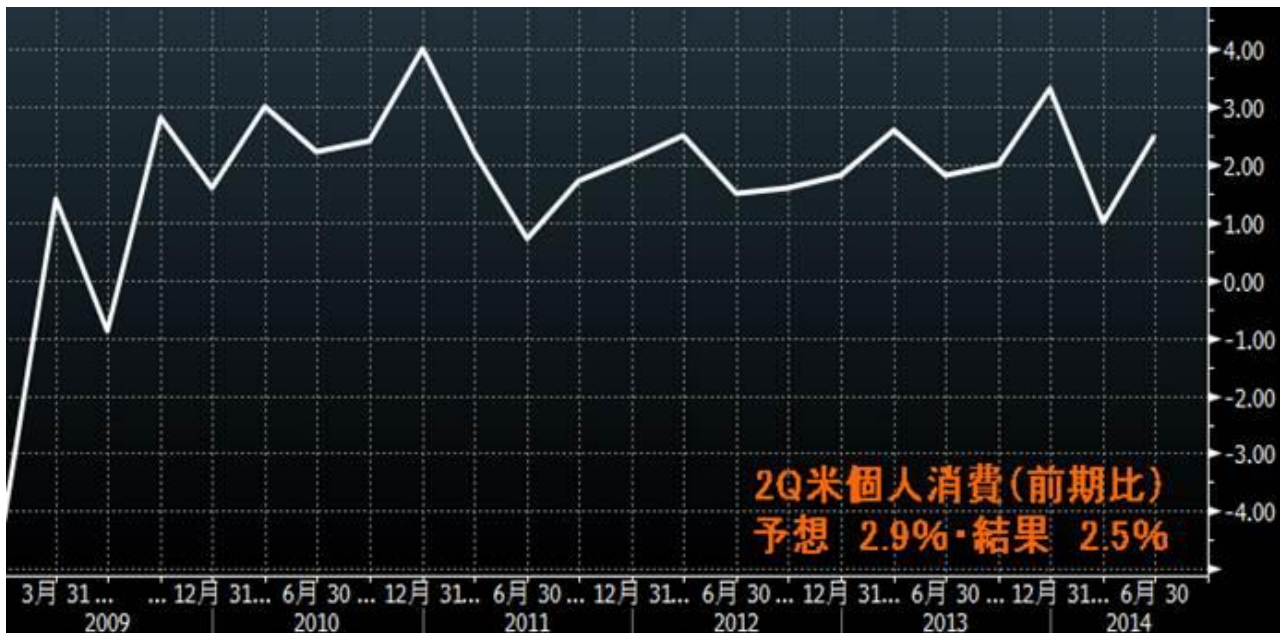
≪ 経済指標の結果 ≫

2Q 米 GDP (前期比年率) 4.6% (予想 4.6%・前回 4.2%)

2Q 米個人消費 (前期比) 2.5% (予想 2.9%・前回 2.5%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米 GDP》

	2Q 確定	2Q 改定	2Q 速報	1Q	4Q	3Q	2Q	1Q
GDP	4.6	4.2	4.0	-2.1	3.5	4.5	1.8	2.7
個人消費	2.5	2.5	2.5	1.2	3.7	2.0	1.8	3.6
耐久消費財	14.1	14.3	14.0	3.2	5.7	4.9	4.5	8.5
非耐久消費財	2.2	1.9	2.5	0.0	2.7	2.8	-0.2	1.8
サービス	0.9	0.8	0.7	1.3	3.7	1.3	2.0	2.4
政府支出	1.7	1.4	1.6	-0.8	-3.8	0.2	0.2	-3.9
最終需要	3.2	2.8	2.3	-1.0	3.9	3.0	1.5	2.0
国内最終需要	3.4	3.1	2.8	-1.0	2.7	2.3	1.9	2.0

22:00

《経済指標の結果》

8月メキシコ貿易収支 -11億2300万USD (予想 -6億万USD・前回 -9億7990万USD)



(出所:ブルームバーグ)

<< NY 外国為替市場 序盤 >>

序盤の外国為替市場は、米経済の先行きを期待したドル買い・円売りが優勢となった。また、4-6月期の米GDP確定値が高い成長率を示したこともドル買いの後押し材料となった。

22:38
米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17018.56	+72.76
ナスダック	4486.57	+19.82

(出所:SBILM)

22:55
<< 経済指標の結果 >>

9月ミシガン大学消費者信頼感指数 84.6 (予想 84.8・前回 84.6)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

<< ミシガン大学消費者信頼感指数 >>

	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月
消費者信頼感	84.6	82.5	81.8	82.5	81.9	84.1	80.0
景気現況指数	98.9	99.8	97.4	96.6	94.5	98.7	95.7
消費者期待指数	75.4	71.3	71.8	73.5	73.7	74.7	70.0
1年インフレ	3.0	3.2	3.3	3.1	3.3	3.2	3.2
5年インフレ	2.8	2.9	2.7	2.9	2.8	2.9	2.9

23:30

＜ NY 株式市場 序盤 ＞

序盤の株式市場は、米 4-6 月期 GDP が 10 四半期ぶりの大きな成長率となったことや、前日の大幅安で割安感の出た銘柄に買い戻しが入ったことから、主要株価は堅調な動きとなった。

＜ 経済指標のポイント ＞

(1) 米 2014 年 4-6 月期の GDP 確定値は、年率換算で前期比+4.6%と、改定値から 0.4 ポイントの上方修正となり、2011 年 10-12 月期以来 10 四半期ぶりの大きな成長率となった。設備投資や輸出が上方修正されたことで、全体が押し上げられた。

①GDP の約 7 割を占める個人消費は、+2.5%と改定値から変わらず。サービス、非耐久財が上方修正される一方で、耐久財は下方修正された。設備投資は+9.7%と改定値の+8.4%から 1.3 ポイントの上方修正された。また、住宅投資も+8.8%に上方修正された。

②輸出は+11.1%と 1.0 ポイント上方修正され、2010 年 10-12 月期以来の大きな伸び率となった。一方、輸入も+11.3%へ上方修正された。

③政府支出は+1.7%で上方に修正。増加率は 2012 年 7-9 月期以来の大きさとなった。FRB が物価安定の指標とする個人消費支出 (PCE) 物価指数は、前年同期比で+1.6%と引き続きインフレ目標の 2%を下回ったが、上昇率は拡大した。変動の激しい食品とエネルギーを除いたコア PCE 物価指数は+1.5%となった。

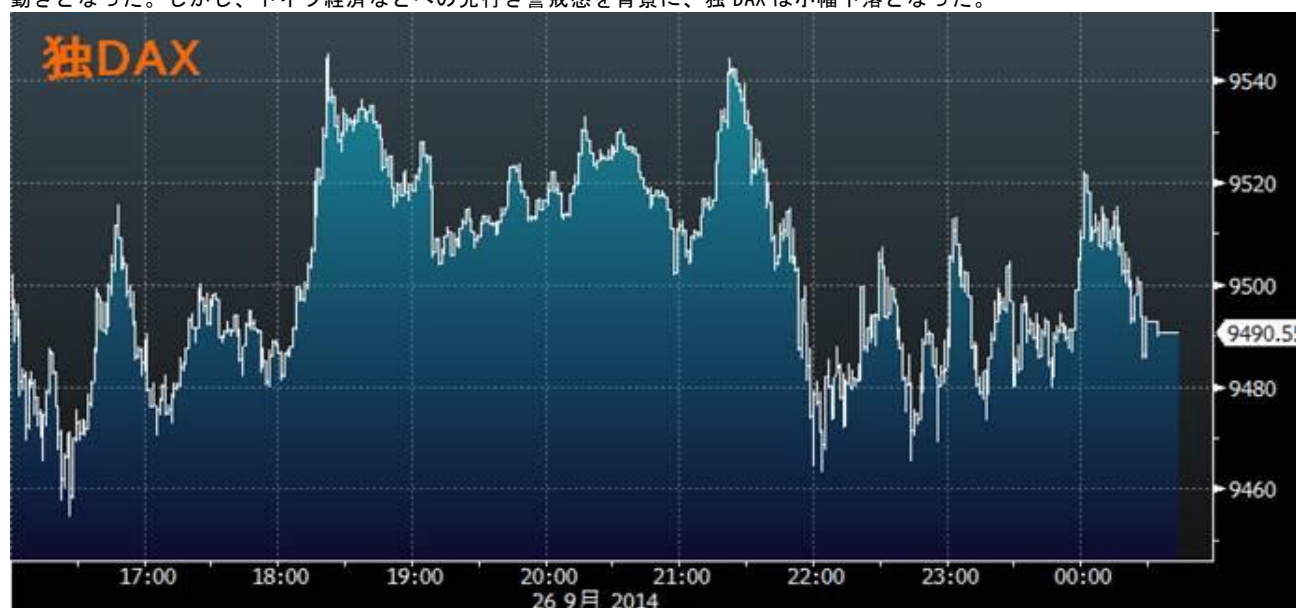
(2) 9 月のミシガン大学消費者信頼感指数の確報値は、84.6 となりで速報値と変わらなかった。前月比では 2.1 ポイントの上昇となり、2013 年 7 月以来 1 年 2 ヶ月ぶりの高水準となった。現状指数は 98.9 と速報値から 0.4 ポイント上昇したが、前月比では 0.9 ポイント低下した。また、1 年後のインフレ期待は 3.0%で速報値から横ばい、前月からは 0.2 ポイント低下した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6649.39	+9.68
仏 CAC40	4394.75	+39.47
独 DAX	9490.55	-19.46
ストック欧州 600 指数	342.30	+0.86
ユーロファースト 300 指数	1377.00	+3.91
スペイン IBEX35 指数	10851.40	+68.30
イタリア FTSE MIB 指数	20795.37	+383.88
南ア アフリカ全株指数	49663.64	+160.09

(出所:SBILM)

＜ 欧州株式市場 ＞

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。前日に下落した反動で値頃感が出た銘柄が買われる展開となり、主要株価は堅調な動きとなった。しかし、ドイツ経済などへの先行き警戒感を背景に、独 DAX は小幅下落となった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17006.36 (+60.56)、 S&P500 1968.93 (+2.94)、 ナスダック 4481.14 (+14.39)

《欧州のポイント》

①EUの市場監督当局は域内の銀行に対し、ストレステストの結果に関するいかなるうわさについても調査を実施するよう要請した。情報のリークや市場の観測が株価に与える影響を懸念しての措置。事情に詳しい関係筋が明らかにした。ストレステストの結果を10月下旬に正式に発表するのを前に、ECBは来週29日に銀行に暫定結果を伝えるための「対話」を開始する。ECBとEU加盟国の監督当局は、銀行にストレステストの結果を精査し、対応を準備する十分な時間を与える意向だが、銀行が開示を強いられるような情報を早期に伝えることは避けたい考え。正式な結果発表では、どの銀行が資本増強やその他の業務改善策を必要としているのかが明らかになる。

②ECBによると、ユーロ圏の銀行は来月1日に3年物流動性供給オペ（LTRO）資金48億6900万ユーロを返済する。返済額は今週の199億ユーロ、市場予想の95億ユーロをいずれも大幅に上回った。内訳は、LTRO第1弾から7行が21億7200万ユーロ、LTRO第2弾から11行が26億9700万ユーロ。

③ECB理事会メンバーのラトビア中銀総裁は、ECBが量的緩和（QE）、もしくは買い入れ対象に国債を含む大規模な資産買い入れ策の実施に向け一段と踏み込んだ措置を取る可能性があるとの見方を示した。ECBは、これまでに理事会でQEをめぐる討議を行ったことを明らかにし、「ECBの流動性供給に問題があるのではないことを明確にするために、われわれは利用可能なあらゆる手段を行使する必要がある可能性がある」と述べた。

④ECBのクーレ専務理事は、ユーロ圏域内の銀行に対するストレステスト（健全性審査）終了後、銀行の融資に向けた基盤が強化されていることを見込むと語った。ECBはユーロ圏の銀行監督の責務を担う11月を前に、域内の大手行131行に対するストレステストを実施する。クーレ理事は講演原稿で「最終結果が判明し、残存する不透明性が払拭された段階で、銀行が新規融資を再開するにあたり、一段と強固な基盤が整っているだろう」と語った。また、ストレステスト終了後、ECBの新型資金供給オペである「的を絞った長期資金供給オペ（TLTRO）」に対する需要が増すとの見通しを示した。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米債券市場で最も影響力のある機関投資家のひとつとされる米大手債券ファンドPIMCOの最高投資責任者が同業社に移籍するとの報道を受けて、ピムコの顧客が米国債の償還を求める可能性があるとの懸念が広がり、売りが先行した。米GDPが上方修正されたことも売りを誘った。

午前の利回りは、30年債が3.21%（前日3.21%）、10年債が2.52%（2.50%）、7年債が2.24%（2.19%）、5年債が1.79%（1.75%）、3年債が1.05%（1.02%）、2年債が0.58%（0.55%）。

3 : 35

NY金は、中心限月が前日比6.50ドル安の1オンス＝1215.40ドルで取引を終了した。

4 : 30

NY原油は、中心限月が前日比1.01ドル高の1バレル＝93.54ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1215.40	-6.50
NY 原油	93.54	+1.01

（出所：SBILM）

《 NY 金市場 》

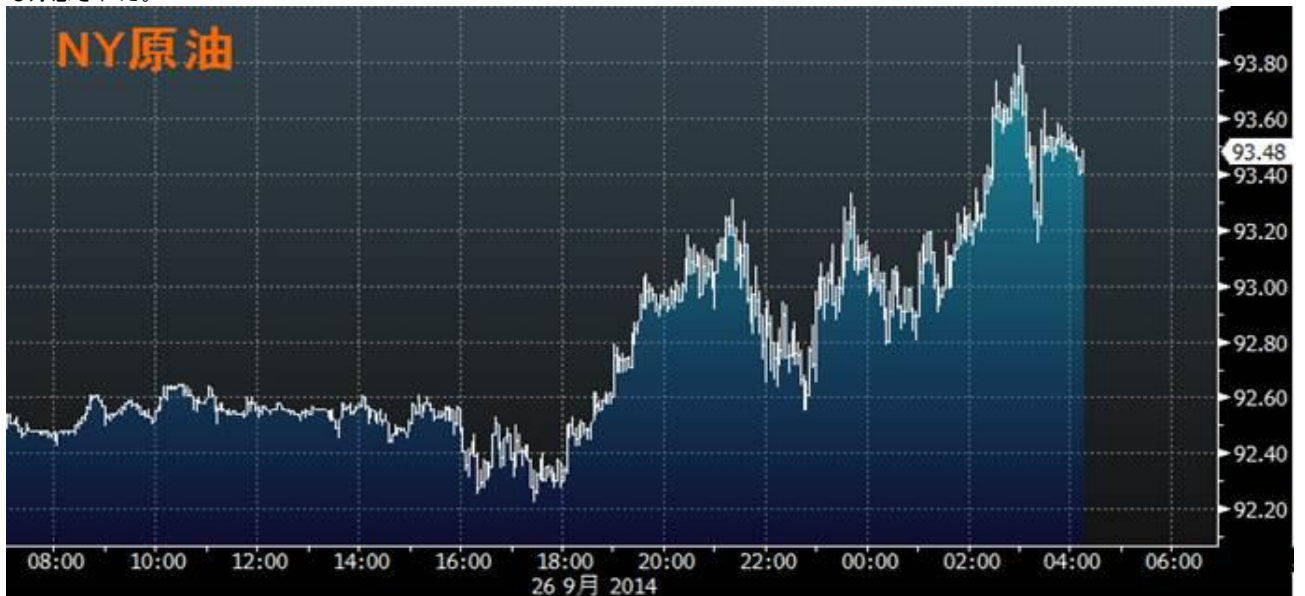
NY 金は、4-6 月期の米 GDP が上方修正されたことから、ドルが主要通貨に対して上昇となり、ドルの代替資産とされる金の需要が後退して売りが優勢となった。終値ベースでは、2013 年 12 月下旬以来、約 9 ヶ月ぶりの安値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、4-6 月期の米 GDP 確定値が改定値から上方修正されたことで、米景気の回復でエネルギー需要が増加するとの期待が高まり、買いが優勢となった。また、イランの石油相が最近の原油価格の下落に対処するよう OPEC 加盟国に呼びかけたとの報道も好感された。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17113.15	+167.35	17148.15	16948.11
S&P500 種	1982.85	+16.86	1986.37	1966.22
ナスダック	4512.20	+4545	4515.75	4475.48

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米 4-6 月期 GDP が 10 四半期ぶりの大きな成長率となったことや、前日の大幅安で割安感の出た銘柄に買い戻しが入ったことから、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な展開が続き、一時前日比で 202 ドル高まで上昇する場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

《 注目株 》

始値 89.73 高値 90.46 安値 88.66 終値 90.46



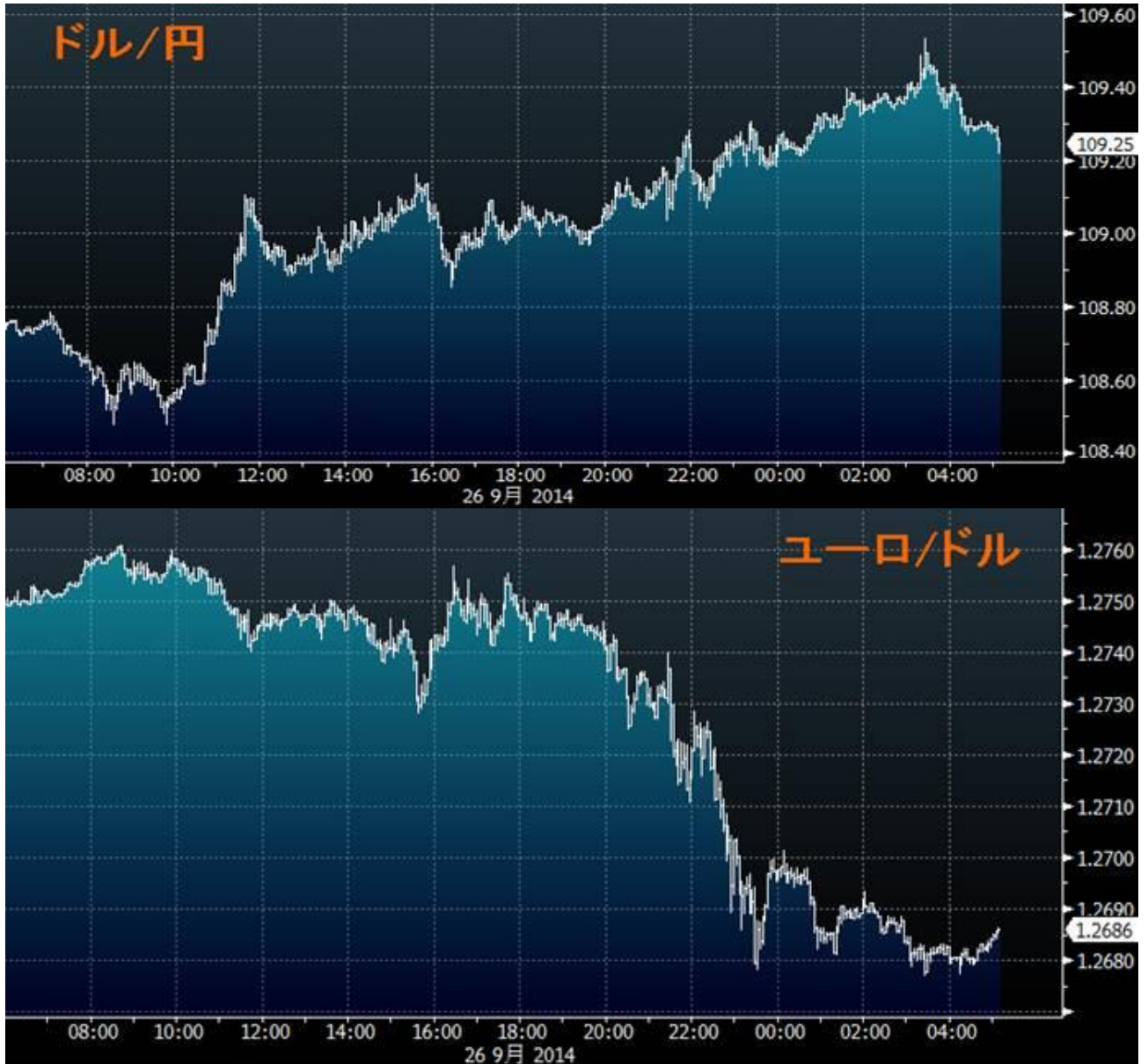
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	109.27	109.54	109.04
EUR/JPY	138.60	139.00	138.52
GBP/JPY	177.58	178.01	177.36
AUD/JPY	95.76	95.99	95.73
NZD/JPY	85.93	86.29	85.92
EUR/USD	1.2685	1.2741	1.2677
AUD/USD	0.8764	0.8800	0.8755

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、4－6 月期の米 GDP が高い成長率を示したことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。ドルは大半の主要通貨に対して上昇する動きとなり、特にドル/円は 109.54 まで上昇し、2008 年 8 月以来の高値を付ける動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。